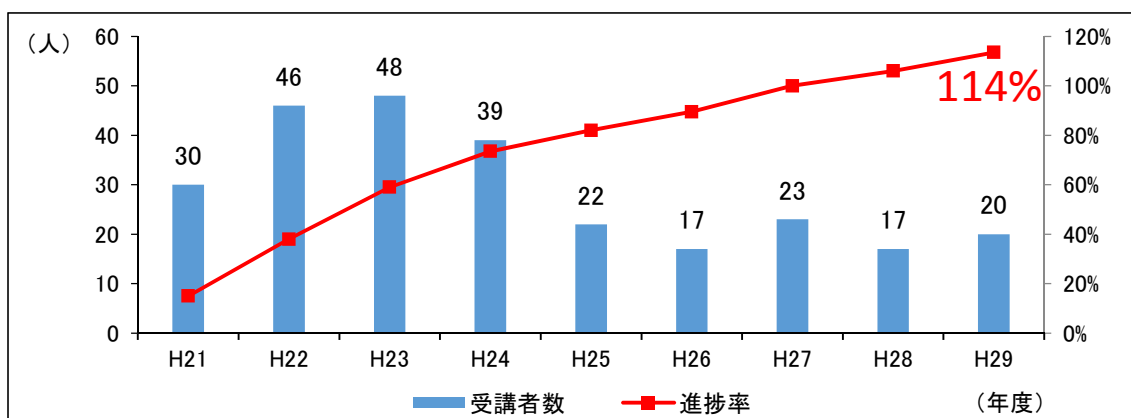


5 森林整備技術者養成事業

- 事業計画 200 人の進捗率は 114%
- 平成 29 年度末現在の研修受講者は 227 人
- 平成 29 年度には、里山林の利活用のための指導者養成を「あいち海上の森センター」で実施

■年度別事業実績及び事業計画の進捗状況

- 事業計画 200 人に対し、森林整備技術者養成研修の受講者は9年間で 227 人です。



(注) 進捗率の算出は実人数で計算。複数年度で研修を受講した者は、最初に受講した年度に人数を計上。

図 3-16 森林整備技術者養成研修の受講者数及び事業計画の進捗率

■研修内容及び日数（平成 29 年度）

区分	内 訳	日 数
技能講習	玉掛技能講習	3
	クレーン講習	3
	高所作業車技能講習	2
	車両系建設機械運転技能講習	5
	はい作業主任者技能研修	2
実技研修	道沿い人工林の間伐、樹上作業、はい積・トラッククレーン積込み等	1 2
実地研修・講義研修等	リスクアセスメント、チェーンソーの点検整備、原木市場の見学 等	3
計		3 0

■身近な森林・里山林整備技術者養成研修（平成 29 年度）

- あいち海上の森センターにおいて、県民が身近な森林・里山林の保全や管理、活用に関する知識と技能を習得する「海上の森アカデミー」を開催しました。（受講者 30 名）

区分	内 容	日数
森の保育者養成コース	森林を活用した幼児教育の手法	5
森女養成コース	女性による森林の保全・整備	6
里山暮らしコース	里山における木材資源の活用	5
計		1 6



森女養成コースの様子

6 木の香る学校づくり推進事業

【児童生徒用学習机・椅子】

- 事業計画 70,000 セットの進捗率は 116%
- 平成 29 年度末現在の助成実績（見込み）は 81,051 セット

【下駄箱、ロッカー等】

- 事業計画 1,640 台の進捗率は 112%
- 平成 29 年度末現在の助成実績（見込み）は 1,838 台

■年度別事業実績及び事業計画の進捗状況

【児童生徒用学習机・椅子】

- 事業計画 70,000 セットに対し、9 年間の実績は 81,051 セット（見込み）です。

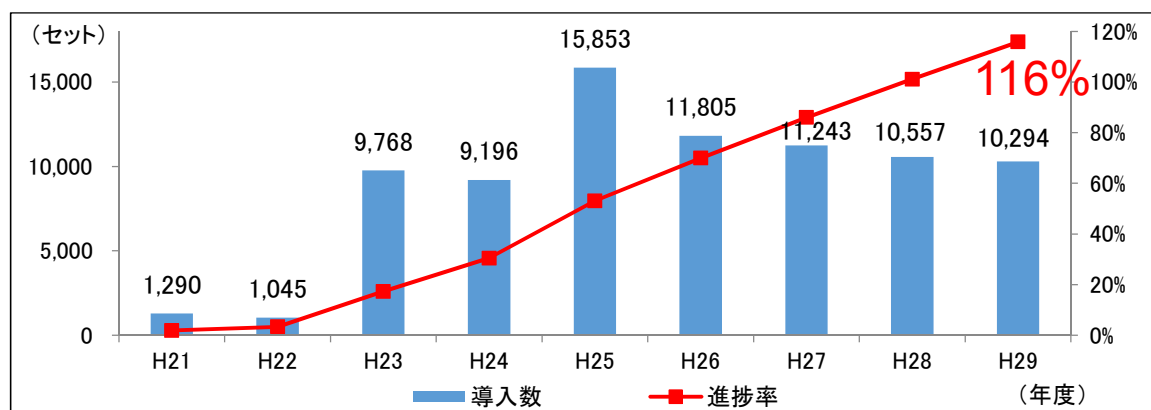


図 3-17 机・椅子の導入数及び事業計画の進捗率

【下駄箱・ロッカー等】

- 事業計画 1,640 件に対し、9 年間の実績は 1,838 台（見込み）です。

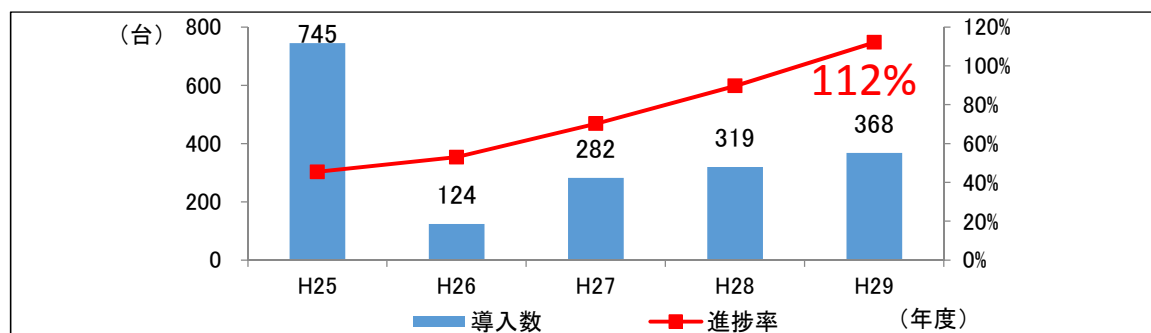


図 3-18 下駄箱・ロッカー等の導入数及び事業計画の進捗率

- 本事業を活用して机・椅子等を導入した学校に対して、事業効果を高めるため、県の林業普及指導員が、森の働きや木を使うことの大切さの講義を行いました。

林業普及指導員による
出前講座の様子(豊田市)



7 愛知県産木材利活用事業（平成 26 年度から実施）

- 事業計画 80 件の進捗率は 78%（注）
- 平成 29 年度末現在の助成実績（見込み）は 62 件

（注）平成 26 年度から 30 年度までの 5 か年の計画量に対する 4 か年の実績（見込み）の進捗率

■年度別事業実績及び事業計画の進捗状況

- 事業計画 80 件に対し、4 年間の実績は 62 件（見込み）です。

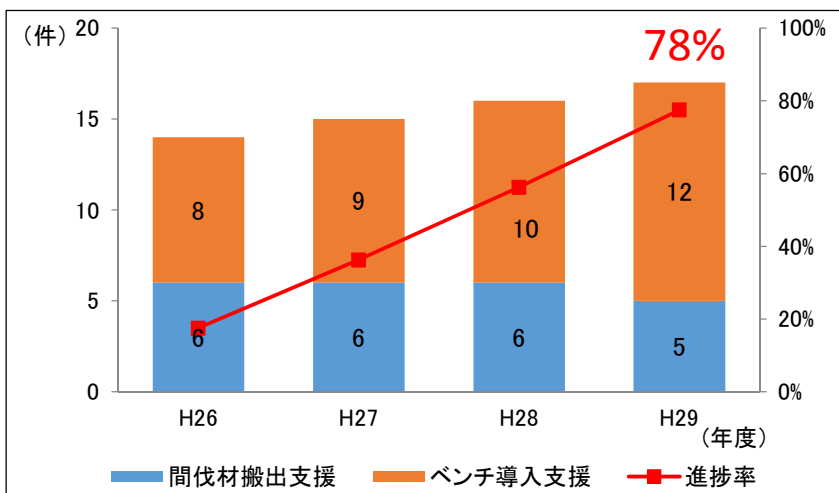


図 3-19 事業内容別の取組件数及び事業計画の進捗率

■間伐材の搬出に関する支援

- 三河山間地域を中心とした 6 市町村において、間伐材の搬出促進のため、間伐材の搬出材積又は搬出重量に応じて、市町村から助成（※）が行われました。

（※ 1 m³ 当たり 1,250 円～2,400 円、又は 1 t 当たり 3,000 円）

■県産木材を使用した木製ベンチ導入の支援

- 本事業により導入されたベンチの数は、年々増加傾向にあり、平成 29 年度末までに合計 657 基（見込み）が導入され、県民の方々に利用されています。

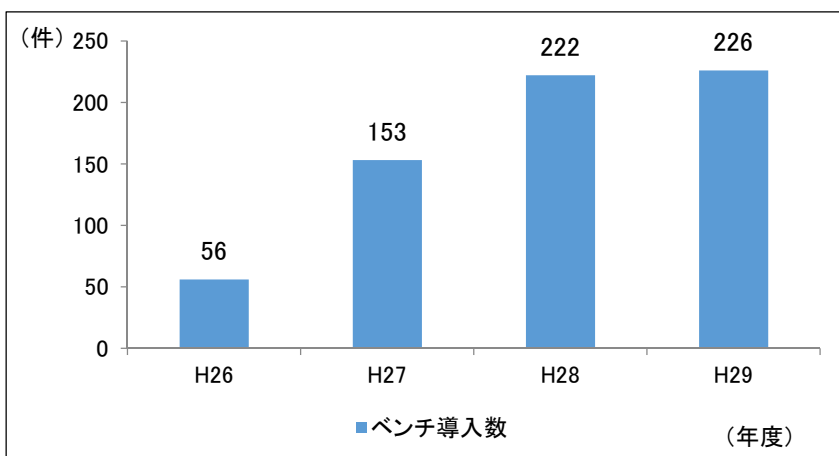


図 3-20 導入されたベンチ数の推移

8 その他の普及啓発

森と緑づくりの必要性や、あいち森と緑づくり事業の取組への理解促進のため、さまざまな機会を通じて、普及啓発を行いました。

■森と緑づくり体感ツアー（毎年）

- 森や緑の現状を県民の皆様にご覧、ご体験いただき、森と緑づくりへの理解を一層深めていただくことを目的としたバスツアーを開催しました。



人工林間伐体験

（平成 22 年度 愛知野外教育センター付近（岡崎市））



どんぐりの苗木の植樹体験

（平成 25 年度 愛・地球博記念公園（長久手市））



竹工作体験

（平成 27 年度 東浦自然環境学習の森（東浦町））

【参加者の声】

- ・都市部で生活していると森のことなどは自分には関係ないと思っていましたが、森にはちゃんと役割があることを知りました。木は植えたら放っておいても大きくなると思っていましたが、間伐の必要さがわかりました。これからは森林について目を向けていきたいと思いました。
- ・こうしたツアーを通じて緑の大切さを学ぶことができよかったです。これからもこのような企画を作ってほしいと思いました。

■森と緑づくりシンポジウム（平成 25 年度）

- 「あいちの森と緑をととのえ隊」の「憲俊」さん（名古屋おもてなし武将隊 初代信長）や「OS☆U」のメンバーと一緒に、森と緑の大切さについて楽しく勉強したり、名古屋小演劇界で最大の動員数を誇る「劇団あおきりみかん」によるオリジナル演劇を鑑賞し、森や緑からの大切なメッセージを感じていただきました。

【開催日】 平成 25 年 12 月 22 日（日）

【場 所】 中区役所ホール

【参加者】 約 250 名



演劇の様子

【参加者の声】

- ・シンポジウムといっても堅くなく、とっても楽しく学べて良かったです。
- ・森の大切さについての演劇や授業などを通して、とてもわかりやすかったです。自分も興味はあったけれど、普段の生活では接していないので、あまり考えていませんでしたが、これを機に間伐が大切だということを伝えることができれば、今日来た意味があると思います。これからもみんな 1 人 1 人が考えていければと思います。

■全国都市緑化あいちフェア（平成27年度）

- 愛・地球博記念公園をメイン会場として開催された第32回全国都市緑化あいちフェアにおいて、「あいち森と緑づくりの庭」を出展展示するとともに、「あいち森と緑づくりワークショップ」を開催し、事業の普及啓発を行いました。



「あいち森と緑づくりの庭」の入場者の様子



「あいち森と緑づくりワークショップ」の様子
（4日間で延べ497名が参加）

■その他さまざまなイベント等でのPR



あいち・なごやESD交流フェスタ
（平成26年度 久屋大通り公園(名古屋市)）



オーガニックファーマーズ朝市村
（平成27年度 栄オアシス21(名古屋市)）

■包括協定に基づく店舗でのPR



スーパー（名古屋市）



コンビニエンスストア（県内一円）

■新聞でのPR（『広報あいち』から関係部分を抜粋）



(上 段) 平成 20 年 12 月号
 (中段左) 平成 21 年 12 月号
 (中段右) 平成 26 年 10 月号
 (下 段) 平成 23 年 12 月号

